

Library NEWS

～図書館だより～

令和6年度 晃陽中学校図書館

新しい学年になって頑張っているみなさん！疲れがたまった時や、なんとなくモヤモヤするとき、読書は、ストレス解消効果が大きいとのイギリスのある大学での研究結果があります。本を読むことで心穏やかに生活できるようです。図書館にきてリラックスしませんか。

5月生まれの 文豪

中島敦

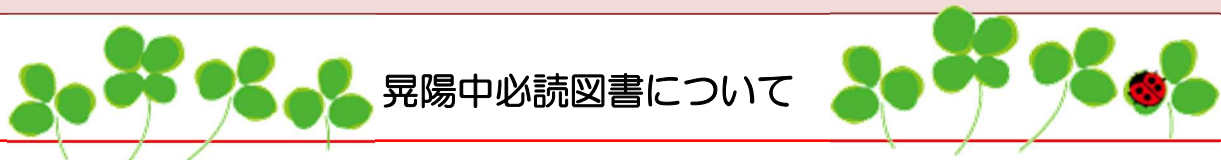


中島敦は 1909 年 5 月 5 日東京で生まれました。父が漢文教師だったため、子どものころから中国文学に自然と親しむことができました。中国の古典や伝説をもとにした小説を格調高い文章で書いた作家でした。代表作『山月記』『李陵』

『山月記』 虎に襲われそうになった男は、虎が「危ないところだった」と人の言葉でつぶやくのを聞きます。この虎は旧友だったのです。虎になってしまった李徴は、^{はくがくさい}博学才穎（学問に広く通じ、知識が非常に優れていること）でしたが、頑固で他人に心を開くことなく、官吏をやめて詩人になります。うまいか、行方不明となります。その李徴が自分のこうなってしまった経緯を話し始めるのでした。



『山月記』
中島敦 立東舎



晃陽中必読図書について

昨年度から始まった、必読図書。みなさんは何冊読み終わりましたか？
どれから読んでも OK です。朝の読書の時間に少しずつ読んでいくのもいいですね。3年間で読破できるよう頑張ってみましょう。



- 1 のび太という生き方（横山泰行） 2 ももこの世界あっちこっちめぐり（さくらももこ）
- 3 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー（レイディ・みかこ） 4 なぜ僕らは働くのか（池上彰 監修） 5 こども学問のすすめ（齋藤孝） 6 ロウソクの科学（ファラデー） 7 夢をかなえるサッカーノート（中村俊輔） 8 一瞬の風になれ（佐藤多佳子） 9 カラフル（森絵都）
- 10 気まぐれロボット（星新一） 11 燃えよ剣 上・下（司馬遼太郎）
- 12 蜘蛛の糸・杜子春（芥川龍之介） 13 とりかえばや物語（日本の古典）
- 14 容疑者Xの献身（東野圭吾） 15 夜のピクニック（恩田陸） 16 アイスプラネット（椎名誠）
- 17 天国からはじまる物語（ガブリエル・セヴィン） 18 はてしない物語（ミヒャエル・エンデ）
- 19 星の王子さま（サン＝テグジュペリ） 20 赤毛のアン（モンゴメリ）
- 21 ブッタとシッタカブッタ（小泉吉宏） 22 頭のうちどころが悪かった熊の話（安東みきえ）

図書学芸委員会報告



カウンター当番を忘れたり遅れたりすることなくできました。

毎週届く巡回図書の入替えテーマに沿った本が40冊届きます。手に取ってみてください。



朝の読書の時間には、図書学芸委員が教室の前の席で読みます。みなさんのお手本となっています。



6月には中間テストがあります。範囲発表後すぐに予想問題作りが始まりますが、今年度の新しい図書学芸委員会の取組がありますので、そちらもポスターで確認してみてください。

修学旅行に関する本のコーナー

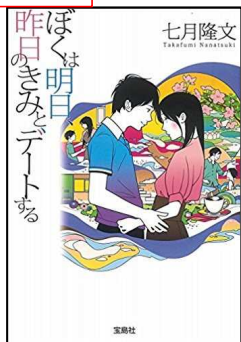
修学旅行をより楽しむために

こんな

本も読んでみませんか

京都

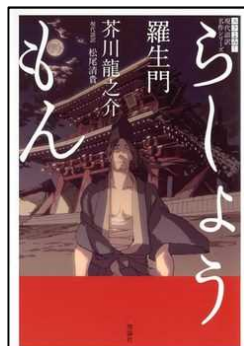
京都・奈良が舞台の小説や、地理・歴史の本など集めてみました。



『ぼくは明日のきみとデートする』

七月隆文：作 宝島社

京都の美大に通うぼくが一目ぼれした女の子は、気配りができてそして、秘密をもつ女の子でした。読めば不思議な題名の意味がわかります。映画化された切ないラブストーリーです。



『羅生門』芥川龍之介：作 理論社

平安京の正門が羅生門です。そこで雨宿りをしていた男が見た、恐ろしい出来事とは？男の「悪」にたいする気持ちがどう変わるのか見てください。

京都

『京都でしたい 100 のこと』JTBパブリッシング

日本人だけでなく外国人にも人気の京都。行ってみたい場所ややってみたいことが 100 個紹介されています。これで計画を立てれば、京都の達人になれるかも。修学旅行の計画に使えますね。

京都



京都

奈良

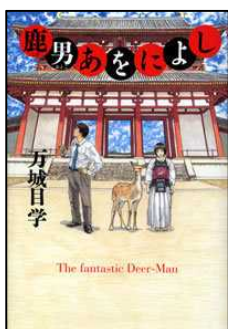


『仏像に恋して①②』

真船きょうこ：著 新人物往来社

奈良の大仏しか知らなかった作者が、京都で仏像をみて一目ぼれ。京都・奈良・岩手など、仏像との出会いを描いたコミックエッセイです。仏像にも位があることを知っていますか？つくられた時代背景もわかりやすく説明され、修学旅行に行く前に読んでおくと、神社仏閣の見学にも楽しみが増えることでしょう。

奈良



『鹿男あをによし』

万城目学：作 幻冬舎

奈良公園の大仏殿裏にいたおれのまゑに現れた、人間の言葉を話す鹿。おれに大切な役を任命するが……。奈良公園で鹿と話ができれば、選ばれし者かもしれません。第170回直木賞を受賞した万城目学氏の作品です。

